

浅羽学園袋井市立浅羽北小学校学校だより

はばたけ

光と大地の子

2学期終業式の式辞より

校長 速水二葉

今日は、2学期最後の日です。2学期は、81日間でした。一年の中で一番長い学期でした。本当にいろいろなことがありましたね。振り返って、今、最初に頭に浮かぶことはどんなことでしょうか。

2学期も、浅羽北小の目標である、「気づき・考え・実行する」ことを意識して、学習や生活をしてきたと思います。みなさんは、どんなことに気付いて、どんなふうに考えて、どのように実行してきたでしょうか。



私が、みなさんが目標に向かって頑張ったと思うことの一つに、「光と大地のつどい」があります。

全校表現は、300人の全校児童の息がぴったり合っていて、感動しました。何度も練習を繰り返しましたね。どうすればうまくできるようになるかと考えて、一生懸命練習をしたと思います。



そして、応援です。大声が出せない中、赤組も白組もダンスを踊って応援するというアイデアは、本当に素晴らしいと思いました。その振り付けも自分たちで考えているのには驚きました。練習のときも、応援団を中心に、自分たちで考えて取り組んでいましたね。これは浅羽北小の自慢の一つです。



それから、5・6年生のみなさんが、自分の係や役割をきちんと果たしている姿も見られました。光と大地のつどいは、高学年のみなさんがこうやって頑張っていたからこそ、できたのです。1年生から4年生のみなさんは、高学年って大変だなあ、すごいなあって思っていたと思います。そして、また自分が高学年になって、下級生のために役割を果たすときが来るのです。



閉会式の得点発表では、こんなこともありました。得点係の人たちは、昼休みなど時間のあるときを見付け、自分たちで考えて練習をしていたそうです。先生に言われなくても、自分たちで気付いて考えて行動したのですね。このような姿が、浅羽北小の「気づき・考え・実行する」の目標を達成している姿だと思います。本当に素晴らしいですね。

一人一人が、日々の活動の中でも、自分で考えて行動したことがたくさんあると思います。幼稚園や保育園の子たちが楽しめるようなお店屋さんを考えたり、クラスみんなが仲良く、楽しく過ごせるような活動を考えたり、修学旅行では時間をきちんと守って、みんなのことを考えた行動をしたり、最近では、自分たちで考えて、学校をきれいにしようと自主的に掃除をしている姿も見られます。こうやって目標に向かって頑張っているみなさんを見ると、先生方はとてもうれしくなります。

それは、先生方も、みなさんが帰った後、いろいろなことを考えているからです。「気づき・考え・実行する」ことが、もっともっとできるようになるには、どうしたらいいのかなって話合いをしています。「今日は、子供たちが、自分たちで考えて、頑張っていたよ。」っていう、うれしかった話もたくさんしていますよ。だから、先生方も、みなさんの「気づき・考え・実行する」姿が見られると、本当にうれしいのです。

このように、2学期の間に、どんなことに気づき、考えて、実行してきたかなって振り返ってみてください。先ほど、大変立派に頑張ったことの発表をしてくれた、代表の3人のように、それぞれに頑張ったことがたくさんあると思います。そのことを、先生やお家の人に、ぜひ話してくださいね。そして、2学期の間ありがとうという感謝の気持ちを伝えられるといいですね。

さて、明日からは冬休みです。私は、冬休みって特別だと思っています。なぜかという、冬休みの間に、新しい年が始まるからです。令和4年・2022年から、令和5年・2023年に変わるのです。たった一日経っただけなのに、年が変わるってすごいですよね。新しい年になるような区切りのときのことを、難しい言葉で「節目」と言いますが、みなさんには、新しい年になるときを「節目」として、新たな気持ちで、自分のめあてを立ててほしいと思います。今まで自分ができなかったなと思うことや、今年こそこれを頑張りたいって思うことを、めあてにして、新たな気持ちで一年をスタートさせましょう。どんなめあてにするのがいいのか、よく考えてみてくださいね。



寄贈をしていただきました

浅羽北シニアクラブの方々から、雑巾を寄贈していただきました。衛生管理や清掃活動等で有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

